

# 農事組合法人 上片モーちゃんクラブ



## ① 現在の経営内容等

### (1) 経営理念, キャッチフレーズ等

肉用牛繁殖経営を地域活性の起爆剤に。

### (2) 栽培技術の特長

子牛育成プログラムを実施し, 各種予防注射の励行とほ乳口ポット活用による早期離乳に取り組んでいる。

### (3) 販売の特長

血統を揃え, 斉一性の高い牛造りに取り組んでいる。

### (4) 経営組織の特長

繁殖経営頭数の拡大の為, 20頭の母牛を導入し飼養する。また労力軽減の為にほ乳期以降の子牛を構成員から預かり, 育成する預託事業を行っている。

### (5) 労務管理の特長

農事組合法人の従事分量配当に対応した作業日誌による。

### (6) 経営管理の特長

農業経営簿記ソフト, パソコン簿記を活用している。

### (7) その他の特長

地域内の集落営農組合と連携して, 水田転作草地の有効利用を図ると共に, 地域内水田稲わらの有効利用, 及び耕畜連携によるたい肥の有効活用を図っている。

## ② これまでの経過

### (1) 法人化するまでの特徴的な歩み

地域において上片馬合営農組合(構成員15戸)が水稻+飼料作物の供給を行っているが, この構成員の中から集落営農活動を発展させるために, 7戸の農業者が集い家畜飼養頭数の拡大を目指し同法人を設立した。

### (2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過, 法人化後の変化

個別の経営規模は小さい構成員が主体となっているが, 家畜増頭に対応する水田活用飼料増産や, 家畜たい肥を活用した特別栽培米の推進など耕畜連携の取組みの活性化を図る目的で同法人を設立した。早期離乳, 衛生管理プログラムに取組み, 安定した生産基盤を確保した。

当法人の子牛販売が立ち上がった平成23年度より, 宮城県種雄牛「茂洋」のブランド力により子牛の販売価格が上昇したため, 意欲が高まっている。

## 経営のプロフィール

### 経営概要

- ・繁殖牛母牛(20頭)
- ・子牛預託(50頭)
- ・草地(2.3ha)

### 主な施設・機械の保有

- ・ほ乳口ポット
- ・育成牛舎
- ・繁殖母牛舎
- ・採草地(2.3ha)

### 構成員等

構成員7名

### 法人設立年月日

平成21年4月10日

### 認定農業者認定年月日

平成21年6月29日

### 出資金又は資本金

70万円

### 販売額

1,500万円(平成25年度)

### 役員名

代表理事: 菅原 啓悦  
理事: 菅原 清次, 菅原 律郎, 菅原 敏彦,  
菅原 勝行, 加藤 卓, 佐藤 仁

### 主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

畜産担い手育成総合整備支援事業

## ③ 今後に向けて

(1) 解決すべき課題と現在検討中(取組中)の対処方策  
牛舎増設などを行い, 更に余裕のあるスペースを確保して, 経営規模拡大を目指している。

### (2) 今後に向けての経営戦略

当法人の自家産の子牛販売はスタートしたばかりなので, 市場で評価される牛作りのために今後も技術研鑽に励んでいく。

(調査: 栗原農業改良普及センター)

## 略図



### 農事組合法人上片モーちゃんクラブ

栗原市金成片馬合日向72  
TEL 0228-44-2919(FAX兼用)

### 視察受入条件

普及センター, JAに予め連絡調整の上  
視察料 無